

シンポジウム

「園におけるリーダーシップ」 ：東アジアの改革動向」

話題提供

「主体性を支える園長のリーダーシップ」

認定こども園
せどりひじり幼稚園
・ひじりにじいる保育園
園長 安達 譲

幼稚園・認定こども園の課題

- ・教育・保育並びに子育て支援等に係るニーズや課題が多様化、複雑化
- ・園長等リーダーの役割が益々重要に
- ・諸課題の解決に向けて保育者等の自律性や協働性を確保しつつ園の力量を高めていくために



柔軟で、強力なリーダーシップが必要。

(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
園長・リーダー研修

3つの資質について研修を企画・実施

- 1.「教育・保育を創る」
- 2.「マネジメントを構築する」
- 3.「保護者・地域・社会・行政と連携する」

上記3つの課題を中心に、教育及び保育並びに
子育て支援等に係る園長等の資質向上を目指す

※教育のリーダーとして

2泊3日 16時間半 + レポート等

リーダーシップとマネジメント

- ・マネジメント(問題志向)
効率性、結果重視、組織(方法)
スタッフをコントロール
- ・リーダーシップ(機会志向)
効果性、原因、ビジョン(目的)、同僚性
スタッフの主体性を引き出す
※保育と同じ？



何のお店にする？

T司会：「どれがいいと思いますか」
A：「ペットショップは難しいと思うねん」
数人：「なんで？」
A：「犬とかつくれないやん」
数人：「なるほど、そっかあ」
司会：「じゃあ消していい？」
H：「お風呂が楽しそう」
K：「いやや、お寿司屋がいい」
H：「えー、決まらんやんやん。」
M：「お風呂楽しいで」
R：「なんでお寿司屋がいいの？」
K：「だってお寿司を作りたいねんもん」
少し時間を置くことに。・・・そして次の日
K：「これもってきた」
家から持ってきた「おゆば」というスーパー銭湯のチラシをみんなに見せる。
H：「わあ、水春のおふろみたい」
A：「お寿司屋も入れたらいいやん」
K：「それやったらいいで」
R：「じゃあ、食べる所も作ろうな」

- ・みんなへ発信する姿
- ・伝えたい姿
- ・たくさん出た意見の中から、自分たちでできそうなお店をイメージしながら、発言する姿
- ・理由付けをしながら、出来るものとできないものを整理していく姿
- ・周囲の意見を聞きながら進める姿
- ・話し合いの目的を見失わずに進める姿
- ・他の子の意見にも耳を傾ける姿
- ・自分たちがやりたいお店にするために、納得できないことに対しては譲らず意思を伝え通そうとする姿
- ・大きな声で威圧しながら自分の意思を通してきたK君が、どうしてもやりたいことを伝えるために、ほかの手段を考えてきた姿
- ・みんなにチラシを見せて同意を得ようとする姿
- ・友だちのやりたいことと融合させようとする姿

発信力	リーダーシップ
意欲	発言力
イメージ力	比較
想像力	論理的思考
情報整理	
自己統制	リーダーシップ
他者理解	
自己主張	意欲
意志力	主体性
自己統制	提案
情報収集	協調性
他者理解	仲間意識
	思いやり

子どもの主体性の育ちを支えるために

- ・保育者の主体性があってこそ
同僚性、安心感→主体性
※「家族のように先生を大切に下さい」

- ・園長(主任) → 保育者
保育者 → 子ども
※関係性が相似？

最良の教師・最良のリーダー

- ・保育者自身の保育に対するこころもち
恐怖→義務→喜び
- ・平凡な教師 言って聞かせる
良い教師 わかりやすく説明する
優秀な教師 自らやって見せる
最良の教師 子どもの心に火を付ける

William Ward

人材の育成 新任の教育課程

○保育と同じ

- 子どもの姿
- 経験してもらいたい内容
- 配慮・援助

○新任の姿

- 経験(やって)もらいたい内容
- 配慮・援助・こころもち

・何もかもが不安	
・何がわからないかも わからない	・子ども1対1で つきっきりになる ・周りが見えない
・副担とうまくやって いけるか不安 ・保護者と話すのが 怖い。	・副担がいるのが 心強い。 ・個人懇談でほとんど しゃべれない。
・子どもが可愛くて 救われる。 ・子どもの前に立つと 緊張して止まる… ・子どもへの関わり方 がわからない	・子どもへの言葉 掛けがわからない ・ピアノの練習をして いても子どもの前 だと弾けなくなる。

- | |
|---------------------------|
| ・毎日来てくれるだけでOK |
| ・褒められる所を見つける。 |
| ・挨拶のみでもOK！
できる所だけ。 |
| ・できなくても責めない！ |
| ・はじめの1週間で全員
の保護者に電話連絡。 |
| ・ペアの先生との早めの関係作り。 |
| ・学年の話しやすい雰囲気 |
| ・担任の名前を覚えて
もらえるようよく呼ぶ。 |
| |
| |
| ☆先輩についていく！！ |
| ・間違っても当たり前！ |
| ・先輩のマネから、とりあえずやってみる！ |